

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	教育学研究科
大項目	5 学生の受け入れ (研究科)
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価 (2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教育学研究科のアドミッションポリシーを受験生に明示し、研究科の目標と内容の理解を徹底する。	→「募集要項等におけるアドミッションポリシーの明示の有無と研究科委員会構成メンバーへの周知」「受験生との事前相談の実施」「PR活動の検討と実施」	B	B			
2. 研究科のアドミッションポリシーの研究科教員への周知を徹底する。	→「研究科委員会でのアドミッションポリシーの確認」	C	C			
3. 教育学研究科の理念に基づき、収容定員を過不足無く確保するよう努力を行う。2010年度から実施の特別推薦入学試験を適切に実施する。	→「研究科委員会での検討と関係する委員会の設置」「大学院入試委員会の開催頻度」「特別推薦入学制度による入学者数」	C	C			
4. 教育学研究科の理念と研究者養成のアドミッションポリシーに基づき、完成年度以降の入学者選抜について検討を開始する。	→「研究科委員会での検討と関係する委員会の設置」	C	C			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

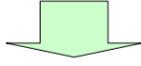
小項目5.0.1	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
	(方針の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 方針を設定している <input type="radio"/> 方針は設定していない
	(明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない
	(受け入れ方針) 幼児教育学および臨床教育学の2領域において「子ども理解」を基本理念とし、高度な専門知識をもち、理論構築や現実に即した具体的な支援のできる人材を養成する。博士前期課程および後期課程の各々に養成する人材像を示した。
(説明)	
小項目5.0.2	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
	(説明) 特別推薦枠を設け、広島女学院大学、関西学院大学文学部、および聖和大学教育学部に対して、学生の募集を行った。その結果、聖和大学から1名の応募者があった。

☆

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



《次年度に向けた方策(1)》伸長させるための方策

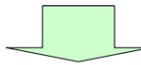
注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	アドミッションポリシーは、大学ホームページで公開している「設置届出書」の中に記載しているので、周知が不十分である。
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



《次年度に向けた方策(2)》改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	アドミッションポリシーが独立した形で、ホームページに掲出する。
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎自由記述

《点検・評価》&《次年度に向けた方策》

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

○入学定員枠がそれ程多くない中で、収容定員に対する在籍学生数比率の向上、安定化が求められます。

【学内委員】

○現状の説明にある受け入れ方針では、教育の目標であって方針の記述となっておりません。受け入れ方針にふさわしい文言に改めることが望まれます。

○受け入れ方針として示している内容は、人材養成像ではないでしょうか。ここでの方針は、「理念・目的、教育目標を踏まえ、求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにした学生の受け入れ方針を、定めていること」です。

○受け入れ方針を明示している、にチェックが入っていますが、その方法についての記載が見あたりません。

○定員に対する実員が少ない。

○定員管理に努められたい。

○小項目5.0.1の（方針）には、学生の受け入れ方針そのものを書いてください。現記述内容は方針ではありません。

○大学基準協会の留意すべき事項にもあるように、ホームページなどによる公表についての説明が必要でしょう。

○小項目5.0.2については、要素や大学基準協会の留意すべき事項の観点からの説明が求められます。

○小項目5.0.4について、説明がありません。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目5.0.1

基盤評価：「理念・目的、教育目標を踏まえ、求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにした学生の受け入れ方針を、学部・研究科ごとに定めていること」「公的な刊行物、ホームページ等によって、学生の受け入れ方針を、受験生を含む社会一般に公表していること」

○小項目5.0.2

基盤評価：「学生募集、入学者選抜の方法が、受験生に対して公正な機会を保障し、かつ大学教育を受けるための能力・適性等を適切に判定するものであること」

○小項目5.0.3

基盤評価：「【学士】学部における過去5年の入学定員に対する入学者数比率の平均が1.00である（※）」
（略）

「【学士】学部における収容定員に対する在籍学生数比率が1.00である（※）」
（略）

「【学士】学部における編入学定員に対する在籍学生数比率が1.00である（※）」
（略）

「【修士・博士・専門職学位課程】部局化された大学院研究科や独立大学院などにおいて、在籍学生数比率が1.00である」

○小項目5.0.4

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、学生の受け入れの適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

○小項目5.0.1～5.0.3

達成度評価：「学生募集、選抜の実施状況等は、公正・適切なものである。（評価に当たっては、当該大学の説明・証明から、下記のこと

- ・学生の受け入れ方針と、学生募集、選抜の方法等の整合性
- ・学生の受け入れを適切に行うための必要な体制の整備

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

《現状の説明》5.0.1の（受け入れ方針）部分を下記のように修正。

（受け入れ方針）人材養成の目的に沿って、教育界や社会に広く門戸を開き、専門的教育者と研究者を目指す学生を受け入れる。

☆ 《現状の説明》5.0.1の（説明）部分に下記のように追記。

（説明）人材養成の目的とは、幼児教育学と臨床教育学の2領域において、「子ども理解」を基本理念とし、「実践力」、「教育力」、「人間力」の養成を重視し、それらを基礎に高度な専門的知識を持ち、理論構築、さらには現実に即して具体的な支援のできる人材を養成することである。また、アドミッションポリシーは、大学ホームページで公開している「設置届出書」の中に記載している。